



## 12月11日は『東桂中学校創立記念日』

創立74年 今年度は授業を実施します。

明日12月11日（金）に、本校は74回目の創立記念日を迎えます。

今年度は、学校創立以来、誰も経験したことのない新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、4月・5月が臨時休校となりましたので、年間授業時間の確保のために、今年度の創立記念日は授業日となります。

さて、この74年間の本校の歩みの中では、令和元年度末までに8,106名の卒業生を輩出し、そして素晴らしい伝統をはぐくみ、輝かしい多くの歴史を刻んできました。今年度の創立記念日を迎えるにあたり、本校の歴史を改めて振り返ってみたいと思います。

### 創立は 昭和22年

創立は終戦後まもない昭和22年、それまでの「東桂国民学校」を廃止し、6・3・3・4制の新しい学制の採用により、男女共学の新制中学「東桂村立東桂中学校」として誕生しました。初代校長は中野武貞先生。生徒数は68名でした。

初めの頃は東桂小学校の一部を借りて授業が行われていました。当時は、戦後の貧しい時代で、制服、カバンなどもそろわず、農繁期には臨時休業もあるほどで、家の仕事の手伝いで学校を休まなければならなかった生徒もいたようです。

創立の年の6月10日にPTAが発足、初代会長に佐藤明氏が選出されました。記念すべき第1回の運動会は10月18日に（校庭が小中共用だったので）小中合同で行われました。当時は、子どもの数も多く、家族や親戚まで見に来る、年に一度の地域交流の場でもあったようです。11月17日・18日には最初の修学旅行が行われました。当時は江ノ島、鎌倉だったそうです。



昭和22年度 第一期卒業生

### 昭和29年「都留市立東桂中学校」と改称

4月29日、谷村、宝村、禾生村、盛里村、東桂村が合併し、都留市が誕生しました。この日をもって「都留市立東桂中学校」と改称されました。

### 昭和32年11月30日、校歌発表式

作詞：勝 承夫 作曲：平井康三郎 により作られ、「校歌発表式」が多数の来賓の出席のもと、盛大に行われました。

### 昭和32年12月11日 新校舎（木造）完成

この新校舎の完成日が、本校の「創立記念日」となりました。

それまで間借りしていた東桂小学校の敷地から独立し、現在の地に新校舎が建設され、12月11日に移転が完了しました。

### 昭和33年10月 9日 中学校単独で大運動会開催

### 昭和35年 9月27日 校庭スタンド建設

### 昭和38年12月25日 最初の「体育館」落成式

丸い屋根のモダンな建物でした。

### 昭和43年 第1回「学園祭」開催

それまで、運動会と文化祭が別に行われていたものを、一緒にして10月31日から3日間にわたり、「学園祭」として開催しました。文化の部は、学年劇、クラス発表、音楽部の発表などあり、現在の礎となっています。体育の部は、全校マスゲーム「行進」があり、3年生の仮装行列は好評でした。

「桂鮎祭（けいねんさい）」の名称は、第10回から名付けられました。

### 昭和47年 8月 9日 中学校専用プール竣工式

それ以前は小学校のプールを小中兼用として使用していました。



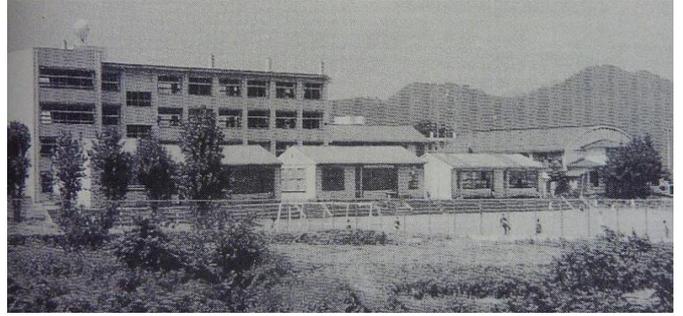
職員室のある棟と昭和38年落成の体育館

## 現在の校舎は

昭和52年（第一期工事）

昭和58年（第二期工事）

に完成！！



第一期工事新校舎（後方） 昭和52年8月

（前方は、新校舎建設時の仮プレハブ校舎）

### 昭和52年8月26日 第一期工事新校舎落成

現在の校舎の西側が第一期工事として完成。

8月26日に落成式が行われました。

### 昭和52年11月26日 第1回校内強歩大会実施

入山の奥までの校内強歩大会が新設。平成29年にコース変更。（※令和2年度はコロナ禍のため中止）

### 昭和54年 グランド照明灯・野球バックネット・クラブハウス完成

### 昭和58年3月24日 第二期工事校舎落成

現在の校舎の東側が第二期工事として完成。落成記念式典を挙行了しました。

### 昭和63年 テニスコート新設完成

### 平成9年 創立50周年記念式典挙行政

9月13日に創立50周年を記念して式典が行われ、記念誌が発刊されました。

### 平成24年3月 体育館大規模改修工事完了

屋根と骨組み、ステージのみ残し、床やトイレ、照明、暗幕等全てが新しくなり、新築同様の新しい体育館に生まれ変わりました。

### 平成25年3月 テニスコート改修工事完了

ダンブカー10台もの砂が入り、排水効果に優れたテニスコートに変身しました。

### 平成28年7月 プール底面改修工事完了

プール底面の張り替え工事が行われ、ブルーのきれいなプールに改修されました。

## 部活動等の主な戦績

※関東大会出場の記事を沿革誌から抜き出しましたが、記載漏れがあるかもしれません。ご容赦ください。

昭和39年 第10回県下中学校選抜野球大会優勝

県総体野球優勝

※創立以来初の県大会優勝

昭和49年・50年 バスケット男女関東大会出場

昭和53年 女子バレー、バスケット、卓球部関東出場

昭和54年 女子バレー、卓球男子関東大会出場

昭和55年 卓球関東大会出場

昭和56年 女子バレー、卓球関東大会出場

昭和61年・62年 女子バレー関東大会出場

昭和63年 野球部中等野球関東大会出場

平成 元年 ラグビー県優勝、関東大会出場

平成 2年 ラグビー関東大会出場

平成 4年 野球県選手権優勝、ラグビー関東大会出場

平成 5年 ラグビー関東大会出場

平成 7年 ラグビー東日本大会出場・準優勝

平成 8年 ソフトテニス関東大会出場

平成 9年・10年 女子バレー関東大会出場

平成21年 相撲関東大会出場

平成21年 ラグビー関東大会出場

平成22年 女子バレー関東大会出場

平成25年 空手女子（桂鮎部）が関東大会出場

平成26年 陸上・空手女子（桂鮎部）関東出場

平成27年 ソフトテニス関東大会出場

平成27年 空手女子（桂鮎部）全国大会出場

平成28年 ソフトテニス・ソフトボール関東出場

平成29年 ロボットコンテスト関東大会出場

平成30年 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会出場

令和 1年 相撲関東大会出場

卓球(個人)関東大会出場

令和2年度の関東大会及び全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため実施が見送られました。